

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名:富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	滑川 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は36.0人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:108% (R6:117,373人→R7:127,089人) ノンステップバス導入割合:88%	本系統については運転手不足の影響で令和7年10月1日に路線を廃止した。富山駅から水橋地区までは別路線を増便する形で利便を確保し、廃止した区間は滑川市がコミュニティバスを経路変更する形で対応している。
富山地方鉄道株式会社	猪谷 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は39.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:102% (R6:170,411人→R7:174,963人) ノンステップバス導入割合:88%	本系統については運転手不足の影響で令和7年10月1日に路線を廃止した。笹津駅までの路線を増便し、JR高山本線と接続する形で楡原・猪谷地区への移動手段を確保しているほか、令和8年1月からは富山市が大沢野シルバータクシーの運行を旧細入村まで試験的に拡大する形で対応している。
富山地方鉄道株式会社	富山ー高岡 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	日中時間帯のパターンダイヤ化などわかりやすいダイヤを提供。また、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は62.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:103% (R6:219,690人→R7:227,866人) ノンステップバス導入割合:88%	引き続き、自治体と連携してこれまでに導入してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	富山ー小杉 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	日中時間帯のパターンダイヤ化などわかりやすいダイヤを提供。また、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は35.5人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:79% (R6:115,016人→R7:91,069人) 【減少要因】 運転手不足の影響を受けて運行回数が減少したため。 ノンステップバス導入割合:88%	自治体と連携するなどして運転手確保に取り組む。 また、減少した定期利用者のうち、通学利用者は別系統学校用のバスへ移行していることから、新規利用者獲得に向け、利便性の高いダイヤの作成に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名: 富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	山田 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	前年同様に沿線の商業施設ファポーレの施設内やHPIにバスの時刻表を掲出してもらったほか、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。なお、輸送量は28.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:86% (R6:125,002人→R7:107,879人) 【減少要因】 運転手不足の影響を受けて運行回数が減少したため。 ノンステップバス導入割合:88%	本システムについては運転手不足の影響で令和7年10月1日に路線を廃止した。富山駅から婦中町長沢地区までは国立富山病院線を増便する形で利便を確保し、廃止した区間は富山市がコミュニティバスを新たに運行する形で対応している。
富山地方鉄道株式会社	ファポーレ経由萩の島 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	日中時間帯のパターンダイヤ化などわかりやすいダイヤの提供や、前年同様に沿線の商業施設ファポーレの施設内やHPIにバスの時刻表を掲出してもらい、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。なお、輸送量は22.8人と補助要件の15人を上回っているが、昨年度の輸送量25.0人から減少している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:86% (R6:52,584人→R7:48,196人) 【減少要因】 運行回数は前年度と変わらないことから、利用者が別系統(熊野経由八尾線、国立富山病院線)へ移行していると考えられるため。 ノンステップバス導入割合:88%	2年連続で利用者数が大きく減少していることもあり、近接する系統も含めて運行形態を見直し、より利便性の高いダイヤの提供を図る。
富山地方鉄道株式会社	熊野経由八尾 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	前年同様に沿線の商業施設ファポーレの施設内やHPIにバスの時刻表を掲出してもらったほか、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。なお、輸送量は63.8人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:107% (R6:186,909人→R7:201,349人) ノンステップバス導入割合:88%	令和7年10月1日より運転手不足の影響を受けて運行区間を一部縮小したが、引き続き、自治体と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファポーレなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名:富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	城端	グレードの高い車両(Wi-Fiやコンセント付シート)を投入し、利用者の利便性向上に努めた。 また、沿線の南砺市民に配布する市営バスの時刻表に城端線の時刻表を掲出し、利用促進に努めた。 なお、輸送量は49.8人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:97% (R6:107,691人→R7:104,955人) 【減少要因】 運転手不足の影響を受けて減便したほか、休日の運行を取りやめたため。	本システムについては運転手不足の影響を受けて、令和7年10月1日に路線を廃止した。
富山地方鉄道株式会社	国立富山病院 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	前年同様に沿線の商業施設ファボールの施設内やHPにバスの時刻表を掲出してもらったほか、自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は39.0人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:107% (R6:87,270人→R7:94,684人) ノンステップバス導入割合:88%	本システムについては令和7年10月1日より廃止された山田線に代わって、運行本数が大幅に増加した。引き続き、自治体と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファボールなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	布目経由新港東口 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画のほか、他の系統も含めて、沿線の学校と協議し、学生の利用しやすいダイヤとして、利用促進と効果把握に努めた。 輸送量は21.4人と補助要件の15人を上回っているが、昨年度の輸送量23.5人から減少している。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:87% (R6:70,019人→R7:61,140人) 【減少要因】 通勤利用者は微増しているが、通学利用者が別系統(国立射水高専線)に移行したと考えられるため。 ノンステップバス導入割合:88%	通学利用者は学校発着系統のバスへ移行していることから、新規利用者獲得に向け、利便性の高いダイヤの作成に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名:富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山国際大学 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は55.5人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:108% (R6:164,682人→R7:178,210人) ノンステップバス導入割合:88%	引き続き、自治体や沿線の学校と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、富山市民病院など沿線の施設への利便性をPRし、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	月岡団地經由福沢 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は37.5人と補助要件の15人を上回っているが、昨年度の輸送量47.8人から減少している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:87% (R6:122,159人→R7:89,677人) 【減少要因】 運転手不足の影響を受けて運行回数が減少したため。 ノンステップバス導入割合:88%	自治体と連携するなどして運転手確保に取り組む。 また、引き続き自治体や沿線の学校と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、富山市民病院など沿線の施設への利便性をPRし、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	石金經由五百石 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は28.0人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:106% (R6:67,173人→R7:71,227人) ノンステップバス導入割合:88%	引き続き、自治体と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーションシステムのPRなどに取り組むとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	大泉經由五百石 ※車両減価償却費等国庫補助金については、計画変更により実施していない。	自治体と連携し、小学生に対して夏休みに使用できる無料乗車券の配布や、「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画など、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は58.2人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較:100% (R6:144,205人→R7:144,616人) ノンステップバス導入割合:88%	令和7年10月1日より運転手不足の影響で廃止された他路線の一部区間を編入する形で運行ルートの見直しを実施した。 引き続き、沿線自治体と連携し、これまでに実施してきた駐輪場やバスのロケーションシステムのPRなどに取り組むとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名: 富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	脇 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は3.7人減少し26.9人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較: 81.6% (R6: 123,534人→R7: 100,780人) 【減少要因】 運転手不足の影響で高岡市内の運行区間を一部縮小した影響。 ノンステップバス導入割合: 96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、利用者増や拡大に努め、沿線市と連携しPRに取り組む。減少要因を詳細に分析し、回復を図る。
加越能バス株式会社	守山經由氷見 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は23.4人増加し44.3人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較: 213.6% (R6: 62,610人→R7: 133,733人) ノンステップバス導入割合: 96%	輸送量や輸送人員の大幅な増加は令和6年10月1日に新高岡守山經由氷見線を廃止した分を編入した影響が大きい。引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、利用者増や拡大に努め、沿線市と連携しPRに取り組む、更なる利用拡大を目指す。
加越能バス株式会社	新高岡守山經由氷見 ※計画変更により令和6年10月1日に路線廃止。				
加越能バス株式会社	伏木經由氷見 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は5.2人増加し30.1人となった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較: 105.5% (R6: 80,029人→R7: 84,437人) ノンステップバス導入割合: 96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、現状の増加傾向を維持・拡大するため、沿線住民の利便性向上に向けたPRを強化し、継続的な利用促進に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名: 富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	仏生寺 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、沿線の学校等へのPR活動や企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は0.6人減少し20.1人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:90.1% (R6:74,432人→R7:67,088人) 【減少要因】 運転手不足の影響で高岡市内の運行区間を一部縮小した影響。 ノンステップバス導入割合:96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、利用者増や拡大に努め、沿線市と連携しPRに取り組む。減少要因を詳細に分析し、回復を図る。
加越能バス株式会社	石動 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は0.8人減少し16.8人となった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:83.7% (R6:71,991人→R7:60,281人) 【減少要因】 運転手不足の影響で高岡市内の運行区間を一部縮小した影響。 ノンステップバス導入割合:96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、利用者増や拡大に努め、沿線市と連携しPRに取り組む。減少要因を詳細に分析し、回復を図る。
加越能バス株式会社	済生会・中田団地 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう!」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は1.5人減少し15.7人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:92.4% (R6:38,288人→R7:35,384人) 【減少要因】 自然減によるものと考えられる。 ノンステップバス導入割合:96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、利用者増や拡大に努め、沿線市と連携しPRに取り組む。減少要因を詳細に分析し、回復を図る。
加越能バス株式会社	城端白川郷 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	当路線は五箇山や白川郷へ観光目的の利用者も多いことから、国内外からの観光客にも分かり易いよう、バス位置情報等の更新、Wi-Fi機器更新を始め企画切符販売を継続した。輸送量は1.0人増加し22.5人となった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員前年度比較:95.9% (R6:47,091人→R7:45,145人) 【減少要因】 白川郷への観光目的の利用者がやや減少したと考えられるため。 ノンステップバス導入割合:96%	引き続き、夏休みや年末年始等期間中のキャンペーンを実施する予定。国内外の観光客を対象とした広域的な企画乗車券や周遊バスを企画し、利用増を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 13日

協議会名: 富山県地域交通戦略会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	庄川町 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、沿線の学校等へのPR活動や企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は3.0人増加し25.0人となった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較: 103.9% (R6: 108,102人→R7: 112,343人) ノンステップバス導入割合: 96%	引き続き、「バス乗車体験教室」等バスに親しんでいただく機会を設けるほか、デジタル乗車券の導入などにより、現状の増加傾向を維持・拡大するため、沿線住民の利便性向上に向けたPRを強化し、継続的な利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	南砺金沢 ※車両減価償却費等国庫補助金を受けている。	自治体と連携し、バス乗車体験イベントへの出展や「電車・バスで行こう！」キャンペーンへの参画などによる需要の掘り起こしや、沿線の学校等へのPR活動や企画乗車券の販売などによる利用促進に努めた。なお、輸送量は5.4人減少し24.0人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員前年度比較: 132.9% (R6: 59,845人→R7: 79,572人) ノンステップバス導入割合: 96%	今後は観光客利用を増やすため、デジタル乗車券の導入や企画乗車券の販売の拡大などを図る。